

津谷中学校 総合的な学習の時間 ルーブリック評価

	興味・関心や暮らしとつながって、詳しく調べられるような、問いを立てている。何を調べたいのかがわかりやすい。	地域や社会の現状や問題点踏まえ、その解決に向けた課題設定となっている。	対象（何について調べるか、何を深めたいか、誰に伝えたいか）が明確で、調査したい、考えてみたいことがよく分かる。	情報収集の計画を立て、知りたい内容を明確にし、いろいろな資料や方法（本、フィールドワーク、アンケート、インタビュー、RefNavi等）で情報の収集を行っている。	フィールドワークや見学、体験活動などを計画して実行し、丁寧に記録・振り返りもしている。集めた情報が課題の解決に役立っている。	先行研究や科学的な資料などを使っていて、情報の信頼性（確かな情報か、確かな根拠があるか）を確認している。	収集した情報を数値や言語等の種類に応じて、分かりやすく整理している。また、整理した情報をどのような方法で活用するか明確になっている。	知りたい内容と合っているか確かめて必要な情報を選び、時系列、意見別、種類別等に分かりやすく整理されている。	情報を関連付けたり、比べたりして、共通点や相違点を明らかにしている。分かったことを筋道立ててまとめ、説得力のある考え（提案）になっている。	複数の情報を分析（比較、分類）し、多くの人と議論や対話を通して、様々な立場から物事を考えている。	情報を批判的（本当にそうかな）に読み、自分の意見に根拠や反対の考えも取り入れている。（先行研究、RefNaviの活用）	内容がとても分かりやすく、図や画像をたくさん使って見やすく工夫されている。	文字の大きさが量がちょうどよく、スライド全体がすっきりして読みやすい。	声が大きくて明るく、話す速さもちょうどよいので、とても聞きやすい。	聞き手をよく見ながら発表できていて、自信が感じられる。	
レベル4 S 非常に優れている	・探究の仕方、目的が明確。 ・探究の見通しが立っている。	・探究の仕方、目的が明確。 ・探究の見通しが立っている。 ・地域・社会への貢献を視野に入れている。	・調査内容が具体的に整理されていて見通しをもって探究を進めている。	・知りたい内容が明確。 ・計画的に情報収集を行う。 ・複数の方法を使っての情報収集。	・自分で計画を立て、フィールドワークを行っている。 ・記録や振り返りを丁寧にを行い、課題解決に役立てている。	・信頼できる情報を収集している。 ・参考文献や引用元を明らかにしている。 ・反対の考えや複数の視点から情報を収集している。	・整理した情報が課題解決に役立てられている。 ・集めた情報が目的に応じて分かりやすく整理されている。	・課題解決に必要な情報と不要な情報を選ぶことができる。 ・根拠を支える情報と補足する情報など、情報の種類を分けることができる。	・考えの根拠が明確である。 ・見た人、読んだ人が納得できる考え（提案）となっている。	・考えたことやまとめたものを教師・級友・地域の人に見てもらい、意見をもらっている。その考えをまとめて反映している。	・反対意見や反論も取り入れている。 ・考えを客観的に評価することができる。 （RefNaviを活用し、考えに偏りがなければ、評価するなど）	・図や画像の使い方が工夫されており、内容がとても分かりやすい。 ・図や画像のレイアウトが見る人を意識したものになっている。	・スライドのバランスを考え文字の大きさ、量になっている。 ・伝えたいことが一目で分かるスライドになっている。	・声量や話し方を工夫して聞きやすく、話の内容が理解しやすい。	・原稿に頼らず、聞き手に考えを伝えるために話し方を工夫している。	
レベル3 A 優れている	・課題が「問い」の形になっている。 ・探究したいことが明確。	・課題が「問い」の形になっている。 ・地域や社会の問題点を見つけている。 ・探究したいことが明確。	・対象が明確である。 ・調査内容が明確である。	・知りたい内容が明確。 ・知りたい内容に合った方法を考え、情報を収集している。	・フィールドワークの目的が明確。 ・記録や収集物の保存を行う。 ・フィールドワークの内容を課題解決に役立てている。	・信頼できる情報を収集している。 ・参考文献や引用元を明らかにしている。	・情報を種類ごとに工夫してまとめている。 ・数値化された情報 →グラフや表 言語化された情報 →カードごとに分類 思考ツール	・時系列（時代ごと）、意見別、種類別にまとめた情報を図や表を使って整理している。	・複数の情報から分かることを考えた根拠としている。 ・考えと根拠が適切に結び付いている。	・反対意見や異なる考え方もまとめている。 ・複数の立場に立った意見をまとめている。	・集めた情報を基に、新たな考えを導き出している。 ・まとめ方や伝え方を工夫しようとしている。 （絵本、ポスター、発表会、体験会など）	・図や画像を適切に活用し、内容が分かりやすい。 ・図や画像のレイアウトを工夫している。	・文字の大きさ、量が適切で内容が分かりやすい。 ・見るの工夫を考え、改行の位置を工夫している。	・はっきりとした話し方。 ・声量や話す速さが適切である。 ・発表が聞き取りやすい。	・原稿に頼らず、聞き手を意識して分かりやすく話そうとしている。	
レベル2 B おおむね適切	身近なものや興味のある題材について視点を設定している。	地域や社会の現状を踏まえた課題を設定している。	対象（何について調べるか、何を深めたいか、誰に伝えたいか）が分かり、探究活動を進めることができる。	調査、分析、考察をする上での情報収集を行っている。	フィールドワークに取り組んでおり、必要な情報が集まっている。課題とのつながりが見える。	客観的で信頼できる情報を選んでいる。	指収集した情報を図表や思考ツールを使って整理している。	収集した情報を内容・種類ごとに分類し、まとめることができる。	集めた情報から分かることを根拠として、考えをまとめることができる。	複数の情報を基に、一つの見方にかたよらずに考えている。	集めた情報を自分の考えにつなげようとしており、自分なりのまとめ方や伝え方も工夫できている。	内容は伝わっている。図や画像の提示の仕方に工夫を加えることで、もっと分かりやすくなる可能性がある。	文字の大きさが量に少し課題があるが、全体としては伝わりやすい内容になっている。	声が少し小さいか、話す速さが速すぎるまたは遅すぎる部分があるが、内容は伝わる。	聞き手を見る回数が少なめだが、努力が見られる。	
レベル1 C おおむね不適	・興味・関心をもとに課題を設定している。 ・探究活動を始めることができる。	・地域や社会に関わる課題を設定している。 ・探究学習を始めることができる。	・対象が分かる課題。 ・探究学習を始めることができる。	・インターネットや書籍等で情報収集を行っている。	・フィールドワークで情報収集を行う。 ・課題と関りのある調査を行う。	・信頼できる情報（本、公式HP、専門家）を収集しようとして心掛けている。	・収集した情報を思考ツールや図表にまとめている。	・収集した情報を内容・種類ごとにレイアウトのカードにまとめている。 ・情報を種類ごとに見出しをつけてまとめる。	・調査したことや書籍の内容を根拠に考えを導き出している。	・複数の情報から考えを導き出している。 ・様々な解釈をまとめている。	・集めた情報から分かったことを考えたにつなげている。 ・まとめ方や伝え方を工夫しようとしている。 （絵本、ポスター、発表会、体験会など）	・図や画像を使い、まとめている。 ・調査内容や考えが伝わっている。	・内容が伝わる文字の量、大きさにになっている。 ・改行の位置が意識されている。	・内容が相手に伝わる話し方になっている。	・聞き手のことを見ようとする意識がある。	
レベル0 D 不適	気になることはあるが、まだ問いの形になっていない。何を調べたらよいか分からない。 ・課題を設定することができない。 ・探究学習を始められない。			情報収集がほとんど行われず、収集方法も一貫していない。 ・情報収集を行っていない。 ・目的がないまま情報収集を行い、課題解決に役立てていない。	フィールドワークを行ったが、情報が少ない。 ・フィールドワークで十分な情報を収集できなかった。 ・フィールドワークと課題の内容が関連していない。	考えに合った客観的なデータや事実を集められていない。情報の信頼性を意識できていない。 ・自分の行った実験や検証のみを根拠としている。	収集した情報を図表や思考ツールへの整理が不十分である。 ・収集した情報をそのまま使っている。 （書き写し、種類ごとに分類しない）	収集した情報を内容や項目ごとに分類することができていない。 ・収集した情報をそのまま使っている。 （書き写し、種類ごとに分類しない）	導き出した考えや主張の根拠が適切ではない。 ・考えや主張のみが書かれている。 （根拠がない、根拠と考えが結びついていない）	自分の見方だけで、偏りがあり、他の立場の主張を考えていない。 ・考えや主張に客観性がない。 ・自分の考えだけをまとめている。	資料をそのまま使っているだけで、新しい考えや工夫は見られない。 ・本やインターネットに書いていて、新しい考えや工夫が見られない。 ・自分で考えていない。	内容を伝えようとする気持ちは感じられるが、図や画像がほとんど使われていないため、わかりにくい。 ・図や画像がほとんど使われていない。 ・伝えたいことが伝わっていない。	文字が大きさが量が不適切。（大きすぎ小すぎ。多過ぎ少なすぎ）スライド読みづらい。 ・文字が多すぎたり、少なすぎたりして伝えたいことが一目で分からない。 ・文字が小さすぎたり、大きすぎたりしている。 ・改行の位置が適切でない。	声が小さく、話す速さや明るさが適切でなく、聞き取りにくい。 ・声が小さく相手に伝わらない。 ・話す速さが不適切で、聞き取りにくい。	聞き手をほとんど見ずに発表しているが、改善することで大きく良くなる。 ・聞き手を意識しない半紙で相手に伝わらない。	
観点	①自分との関わり	②地域・社会との関わり	③課題の対象	①情報収集の方法	②フィールドワーク	③信頼性（根拠）	①思考ツールや図表	②情報の分類	①論理的	②多面的	③創造的	①内容の分かりやすさ	②文字の大きさと量	①声の大きさ、速さ	②原稿に頼らない	
評価項目	課題設定・対象の明確さ ①課題の内容を自分ごととして捉えている。 ②地域・社会との関りを考えている。 ③対象が明確か。			情報収集の方法・情報の確かさ ①課題解決に合った情報収集。 ②フィールドワークでの情報収集。 ③情報の信頼性（根拠）の確保。			情報のまとめ方（整理） ①情報を思考ツールや図表を使って整理する。 ②情報を内容や項目ごとに分類する。			考え・考察（分析） ①筋道を立てて考えをまとめているか。（論理的） ②いろいろな見方ができているか。（多面的） ③自分らしい考えや工夫があるか。（創造的）			プレゼンテーション（含 ポスター・レポート）のきれいな・見やすい（まとめ） ①分かりやすい内容か。 図や画像などの工夫があるか。 ②文字の大きさが量は適切か。		発表の態度・パフォーマンス（表現） ①声の大きさ、速さ、明確さは適切か。 ②アイコンタクトなどを取っているか。	
評価項目	課題設定			情報収集			整理・分析			まとめ・表現						
評価	探究プロセス															